

は危機的な状況には、積極的に参加したり、立ち向かうなります。でも、直接利益にも損失にもならないことには、比較的「見て見ぬふり」を決めこむ性質があるようです。昔と違つて、「個」のライフスタイルが重視されるようになつた昨今、その傾向がさらに強くなつたということは、皆さんもお感じになつてゐるところです。「他人のことなど知つたこつちやない」、「だれも見ていないだろ」、「赤信号、みんなで渡れば怖くない」等々。思いあたること、ありませんか。リサイクルだってそう。「環境団体に任せとけばいいだろ」じゃダメなんです。「見て見ぬふり」は、足を引っ張つているのと同じですよ。だからお願ひです。「あなたの良心、ちょっとだけ分けてください」。

おしまいに、多くのリサイクル初心者の皆さんにアドバイスましょう、リサイクルのコツ。

①コンポストの活用 生ごみ处理器「コンポスト」は、台所などから出る生ごみを、土中のバクテリアの働きを利用して分解し、堆肥に変えてしまいます。臭いや污水もほとんど出ませんから安心です。上質。花に、野菜に、お役立てください。

②いらないものは買わない 「そんなこと当たり前」? 本当にそんな



- ③「譲つて・譲ります」コーナーを活用する 手前味噌ですが、広報「おおだて」には不用品の交換コーナーがあります。自分にとてももういらないものでも、ほかのだれかは欲しいのかも知れません。ごみとして出す前に、一度利用してみてはいかがでしょう。

④過剰包装は「いりません」 お店で買つてきた品物、家に帰つたらさつそく取り出してみますよね。そしてごみ箱に行くのが包装紙。中には必要以上に丁寧に包んでくれているものも。「なにもこんなに包装しなくても」というそんな気持ちを、お店に伝えてみましょう。

⑤リサイクル製品を使いましょう パーチンパルプ一〇〇%のやわらかティッシュと、紙質がちょっと劣る再生紙のティッシュ。紙の再生コストのため、一般的に再生ティッシュの方が高めの値段が付いています。安くてやわらかいティッシュを使いたくなるのは人情。でも、ここで緑濃い森の風景を思い浮かべてみてください。あとは、あえて何も

## のぞいてみませんか 「クリーンビア あきた大会」

生活ができますか。安いとか、便利そうだからと衝動的に買つてしまい、それつきり眠つているもの、どこのご家庭にもあります。レジに並ぶ前に、今これが本当に必要か、と冷静に考え直してみてください。

住民と行政、民間企業が一体になって、ごみの減量化やリサイクル運動を進めていくこう、と開催されるのがこの大会です。

「役所の話はどうもむずかしくて…」なんて冗談しないでください。関心があるのならだいたい話のスジは分かるはず。自分なりの思いと比較してみるとよし、新たな視点を見つけて見るもよし。きっとプラスになる話が聞けると思いませんよ。

当日はリサイクル製品の展示やリサイクル化への取り組み状況の紹介もあります。ぜひお誘い合わせてお出かけください。

とき・8月2日(金)

ところ・市民文化会館

参加費・無料

記念講演 (13時25分~14時25分)

「容器包装リサイクル法を暮らしの中に」消費者・市町村・事業者に今求められるもの

事例発表 (14時25分~14時55分)  
「ペットボトルへのリサイクルの取り組みについて」

リサイクル品の展示・取り組み状況の紹介 (10時30分~17時)

□42-12169

⑤ 広報おおだて 1996.7.16